

立山山行報告

【日時】 11月21日(木)前泊～24日(日)夜

【天候】 曇り・晴

【行程】 21日夜 安曇野付近道の駅(仮眠)

22日 扇沢(アルペンルート)→11:30 室堂(荷物デポ)→浄土山中腹まで→
室堂→14:00 雷鳥荘(入浴)→15:00 雷鳥沢(BC)

23日 7:30 発→10:30 奥大日岳→13:30 雷鳥沢

24日 BC 撤収→7:30 発→9:00 室堂(荷物デポ)→10:00 一の越→11:30 雄山→
13:00 室堂→アルペンルート→扇沢→温泉→帰葉

【参加メンバー】 CL 佐藤、SL 金、小宮山、齋藤(健)、秋本(記録)



【内容】

立山のライブビューでは、10日前にはなかった雪が日に日に積もり真っ白になり、天気予報も絶好調。これは楽しみだと思っていたら、出発直前に予報が急激に悪化しました。荒れ模様予報に全員やる気を失い、雷鳥荘で温泉に浸かりっぱなし、テントでだらだらかあと、頑張らないモードに。

1日目は扇沢から室堂まで。途中の駅で、早くも蕎麦と生ビール(シーズン終了に向けて150円!)。室堂にはスキーヤーがい



っぱいきました。室堂のターミナル付近に荷物をデポして、浄土山へ登り始めました。上から室堂を見下ろして全体を俯瞰しようということでしたが、大して登らないうちに、ガスが広がり真っ白に。すぐに降りました。冬山の荷物と多めの食料を背負って雷鳥沢への道は、天気悪さも相まって、なかなか着きませんでした（下山後、重量計測すると、17-20kg。往路は人により+2kg?）。そして途中の雷鳥荘に立ち寄り第一回目の温泉。良いお湯を満喫し、大満足で雷鳥沢へと下り、テントの中では大宴会が行われました。途中、雨もパラパラと。明日、何時にする？まあとりあえず5時に起きて出発は様子を見て...温泉の可能性も...

翌日は快晴になりました。風なし。雲ひとつなし。

俄然やる気を出して奥大日岳に向けて出発。大学生の大群がトレースをつけてくれており、ワカンも不要。絶好の天気リーダーもにやにや。

途中、雷鳥の足跡足跡がいっぱいありましたが、姿はなかなか見えず。その代わり、剣岳はどどーんと全貌が見えます。





奥大日岳山頂から見える劔岳

途中、開けた場所からのあまりの絶景に、齋藤(K)さんはこんなチャンスはないと、居残り宣言。「夕日までここにいる」え？今、10時ですけど？

登頂よりも写真という齋藤さんを残し山頂へ。切り立ってるように見えた稜線も歩く場所によってはなんてことなく、這い松も心強い。ガシガシ(のつもりで)歩いてたどり着いた山頂は風なし、雲なし。立山・北アルプス南部・日本海など、ぐるっと一周見渡せました。一瞬、立山の雄山あたりに雲がかかり、滝雲のようになりましたが、気がつくとも消滅。リーダーの「こんな好条件なかなかない」という通り、いつまでもいられる山頂を後にして元来た道に戻り、齋藤さんデポポイントへ到着。さて、夕方まで残るといふ齋藤さんのため、ツェルトを建てよう。ツェルトを使ったことのない私は興味深々。なるほどなあと見入りました。

齋藤さんと別れを惜しみ、下って、第二回温泉。週末になり、すごい人人人。スキー人口の多さに驚きました。展望風呂から遠くの齋藤ツェルトが見えました。

テントで、齋藤さんが戻ったら即座に宴会ができるように万事整えつつ、ちょっと呑む。佐藤さんがベンチレーターから外を覗くと夕焼けがきれいで、急いで出て堪能しました。テントに戻って、金さんのローストビーフやらチーズやらホットワインを飲んだり食べた



ツェルトから見えるのは齋藤さんの足

りしながら齋藤さんを待つ。テントの外でガササと音がすると、みんなで歓声をあげてお出迎えをし、ワイワイガヤガヤ。いつか送ってもらえるという写真を見るのがとても楽しみです。小宮山さん作のクリームシチューも美味しかった。



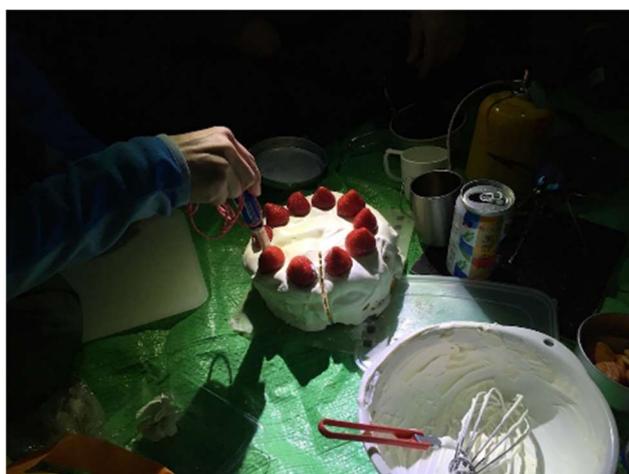
そろそろ寝ようかというときに外を見ると、昼間からの好天が続き、星がいっぱい。齋藤さんは入り口付近にシュラフを移動し、身体を半分乗り出して星空撮影。夜中にも起きて何度か撮影を試みたということでした。

夜中は強風で大荒れでしたが、朝になると止んでまずまずの天気。撤収して、今日は雄山へ。雷鳥沢から室堂への道中、齋藤さんがみくりが池温泉で待っている宣言。私も...と手をあげましたが、却下された。途中、虹まで出て、絶景山行はさらに充実したものとなりました。室堂で荷物をデポして雄山へ向かいます。雄山は雲がかかって好天とはいきませんでした。とても暖かく、途中から雪はジャクジャクになっていました。風もほとんどなし。一ノ越から雄山山頂まではさすが修験の道、急峻な登りに緊張もあり、すぐに息があがりました。山頂にあるお堂まで行き、少し急ぎ目で室堂に戻ると、温泉に入り・ビールを飲み・友人に会ったという齋藤さんと合流。アルペンルートを戻り、最後の温

泉に浸かって千葉へと向かいました。毎日お風呂に入ったためか、疲労もなく、天気もたなぼた的によかった事もあり、充実の山行でした。

<佐藤さん誕生日 1129 肉パーティー>

今回の山行の目的の一つである肉パーティーが立山 1 日目の夜に開催されました。雷鳥沢まで小宮山さんがスポンジケーキ台をつぶさずに持参。私は生クリーム泡立て担当でしたが、途中で疲れて、いちご切り担当に。スポンジケーキにクリームとイチゴを飾り付けて、素敵なケーキができ、みんなでリーダーの誕生日を祝って歌って、わーい、さて切り分けよう...あ！ホイップクリームに砂糖をいれるように言われてたのを忘れてた！大事故！このケーキ食べられるのか？と心配しましたが、結果、スポンジケーキとイチゴの甘さに助けられて、大人の味で却って良かったという温情判決。メインディッシュはすき焼きです。小宮山さんがいつもお世話になっているリーダーのため、ということで、フィルムに包まれた高級牛肉を用意してくれました。こんなお肉食べたことない。お肉は超柔らかく、すき焼きおいしかったです。佐藤さん、お誕生日おめでとうございます。





以上